

<<T A C 公認会計士講座の財務会計論・計算編のカリキュラムとの対応>>

本書の問題は主に基礎マスターⅠの個別論点分野に対応しております。

問題番号	タイトル	どの講義まで学習すれば解けるか
問題1	有価証券	基礎マスターⅠ 第1回
問題2	債権の区分	基礎マスターⅠ 第7回
問題3	リース取引	基礎マスターⅠ 第8回
問題4	有価証券・減損会計	基礎マスターⅠ 第6回
問題5	自己株式	基礎マスターⅠ 第10回
問題6	外貨換算会計	基礎マスターⅠ 第11回
問題7	分配可能額	基礎マスターⅠ 第11回
問題8	新株予約権付社債	基礎マスターⅠ 第11回
問題9	株主資本等変動計算書	基礎マスターⅠ 第11回
問題10	ソフトウェア	基礎マスターⅠ 第8回
問題11	減損会計	基礎マスターⅠ 第11回
問題12	短答形式総合問題	基礎マスターⅢ 第7回

(注) 近年、短答式試験においても問題後半部分で総合問題が出題されています。

その対策として活用して頂けるよう、問題12は短答式試験対策の総合問題となっています。ただし、学習効果の観点から選択肢式ではなく、記述解答式にしています。本問のみ制限時間30分以内、合格点の目安は24点として挑戦して下さい。